

**D6 : Japanese Utility Model Kokai No. Hei-6-51839**

**Published: 15 July 1994**

Application No. 86014/1992 (Hei-04-86014)  
Filed: 15 December 1992  
Applicant: Pola Kasei Kogyo Kabushiki Kaisha  
Inventors: AMANO, Keiichi, et al

**Title of the Invention:**

Color tone samples and Tool for color tone samples

**Abstract:**

Problem to be solved

To make it possible to easily select a cosmetic having a color that suits to a user and to prevent any erroneous selection of color.

Construction

Each of color tone samples 2 is removably put on a release sheet 3 by an adhesive 4. Each color sample 2 comprises a base film 5, a color tone printing 6 and a cover film 7. The base film 5 is made of polyester film and is put on the exfoliation sheet 3 by said adhesive 4. The color tone printing 6 is provided on a surface of the base film 5. The color tone of the color tone printing 6 corresponds to a color tone to be applied (that is a color tone of a cosmetic in the same thickness as that of the cosmetic that is practically applied on a skin). The cover film 7 is made of a transparent polyester film and is put on the base film 5 and the printing 6. The cover film 7 has a matted surface having an unevenness that is substantially corresponding to a skin surface on which a cosmetic is applied. Color number is printed on the surface of the cover film 7.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-51839

(43)公開日 平成6年(1994)7月15日

(51)Int.Cl. <sup>1</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 1 J 3/52		9215-2G		
G 0 9 F 5/04		H 7028-5G		

審査請求 未請求 請求項の数 6(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-86014

(22)出願日 平成4年(1992)12月15日

(71)出願人 000113470

ポーラ化成工業株式会社  
静岡県静岡市弥生町6番48号

(72)考案者 天野 圭一

東京都品川区西五反田2丁目2番3号株式  
会社ポーラ化粧品本舗内

(72)考案者 小泉 正夫

東京都品川区二葉4丁目1番20号有限会社  
ポーラ印刷内

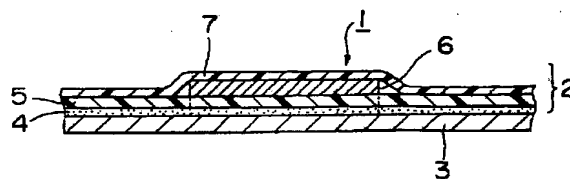
(74)代理人 弁理士 遠山 勉 (外3名)

(54)【考案の名称】 色調見本と色調見本具

(57)【要約】

【目的】 自己に合った色調の化粧品を簡単に選定でき、且つ、選定ミスをなくすようにする。

【構成】 色調見本2は剥離紙3に接着剤4を介して離脱可能に添着されている。色調見本2は、ベースフィルム5と、色調の印刷6と、カバーフィルム7とから構成されている。ベースフィルム5は透明なポリエステルフィルムからなり、前記接着剤4によって剥離紙3に添着される。色調の印刷6は、ベースフィルム5の表面に印刷されている。印刷6の色調は塗布色調(実際に肌に塗る時と同じ厚みにおける当該化粧品の色調)になっている。カバーフィルム7は透明なポリエステルフィルムからなり、前記ベースフィルム5及び印刷6の表面に付着されている。カバーフィルム7の表面は人の肌に近い凹凸を有するマット調に加工されている。カバーフィルム7の表面には当該色調の色番号が印刷されている。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 透明なベースフィルムの表面に、実際に肌に塗る時とほぼ同一厚みにおける化粧品の色調が印刷されてなることを特徴とする色調見本。

【請求項2】 前記色調の印刷表面が透明なカバーフィルムで被覆されてなることを特徴とする色調見本。

【請求項3】 前記カバーフィルムの表面と前記色調の印刷表面の少なくともいずれか一方が、凹凸感のあるマット調にされていることを特徴とする請求項1または2に記載の色調見本。

【請求項4】 前記カバーフィルムの表面と前記色調の印刷表面の少なくともいずれか一方に、当該色調に対応する識別標識が表示されていることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の色調見本。

【請求項5】 請求項1から4のいずれかに記載の色調見本における前記ベースフィルムの裏面に接着剤が付着されていて、この接着剤を介して色調見本が剥離紙に離脱可能に添着されてなることを特徴とする色調見本具。

【請求項6】 透かし孔を有するカードを具備し、このカードの透かし孔に、前記請求項1から4のいずれかに\*20

2

\*記載の色調見本が取り付けられてなることを特徴とする色調見本具。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案の第1実施例におけるサンプルシート（色調見本具）の断面図（図2 A-A断面図）である。

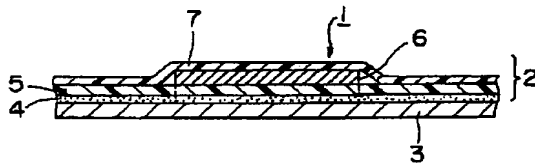
【図2】 前記サンプルシートの平面図である。

【図3】 この考案の第2実施例における色調見本具の外観斜視図である。

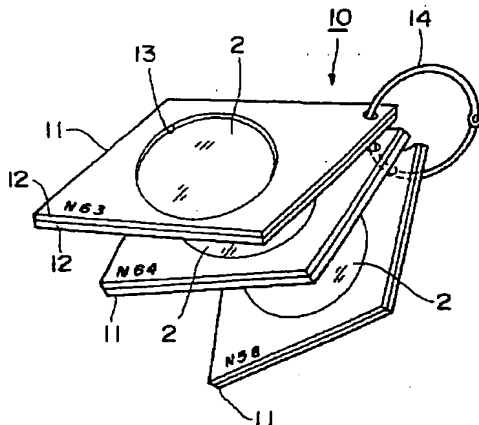
【符号の説明】

- |    |    |                |
|----|----|----------------|
| 10 | 1  | サンプルシート（色調見本具） |
|    | 2  | 色調見本           |
|    | 3  | 剥離紙            |
|    | 4  | 接着剤            |
|    | 5  | ベースフィルム        |
|    | 6  | 印刷             |
|    | 7  | カバーフィルム        |
|    | 10 | 色調見本具          |
|    | 11 | カード            |
|    | 13 | 透かし孔           |

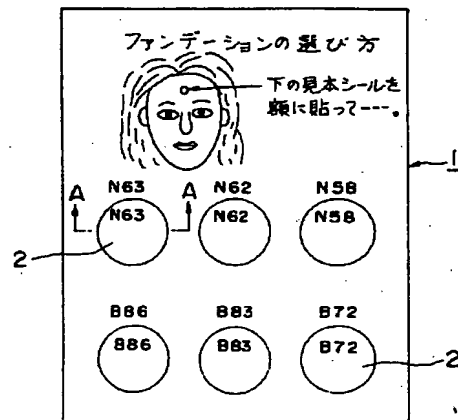
【図1】



【図3】



【図2】



**【考案の詳細な説明】****【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、ファンデーション等の化粧品の色調を自己の好みに合わせて選択する際に使用する色調見本に関するものである。

**【0002】****【従来の技術】**

従来からあるこの種の色調見本としては、化粧品の色調を紙に印刷したものがある。しかしながら、この場合に紙に印刷される色調は、例えば粉状の化粧品を圧縮して固めた状態の色調（これを外観色調という）であるため、実際に肌につけた時の色調（以下、これを塗布色調という）よりも濃いものとなった。したがって、この色調見本を使って顧客が自己の所望する色を選択するのは非常に難しかった。

**【0003】**

そのため、多くの化粧品の色調見本には、実際の化粧品そのものを台紙に少量付着させたもの（特開昭62-161186号公報参照）や、小型容器に少量入れたもの（特開平2-129114号公報参照）などが使用されている。これらの色調見本においては、顧客は色調見本に付いている化粧品を直接に自己の肌に塗布して色調を確認している。

**【0004】****【考案が解決しようとする課題】**

しかしながら、このように化粧品を直接肌に塗布するとなると、自己の好みに合った化粧品を見つけた時には何ら支障はないが、好みに合わない化粧品を塗布した時には、この化粧品を肌から落とさなければならないので、試し塗り後の処置が面倒であるという欠点があった。

**【0005】**

そこで、前記印刷による色調見本であって、実際の塗布色調の出る色調見本が切望されている。

本考案はこのような従来の技術の問題点に鑑みてなされたものであり、簡単に

自己の好みに合った色調の化粧品を簡単に且つ間違えなく選定することができる色調見本と、この色調見本を用いた使い勝手のよい色調見本具を提供することを目的とする。

#### 【0006】

##### 【課題を解決するための手段】

本考案は前記課題を解決するために、以下の構成を採用した。

即ち、本考案の色調見本は、透明なベースフィルムの表面に、実際に肌に塗る時とはほぼ同一厚みにおける化粧品の色調が印刷されて構成されている。ベースフィルムとしては、ポリエステルフィルムや塩化ビニルフィルム等を例示することができる。化粧品としては、ファンデーション、フェースパウダ、アイシャドウ等を例示することができる。

#### 【0007】

前記色調の印刷表面を透明なカバーフィルムで被覆するのが好ましい。このようにすると、印刷表面を汚したり傷付けたりするのを防止することができるからである。カバーフィルムとしては、ポリエステル、ポリプロピレン等を例示することができる。

#### 【0008】

前記カバーフィルムの表面と前記色調の印刷表面の少なくともいずれか一方を凹凸感のあるマット調にすると、肌との違和感がなくなるので好ましい。

前記カバーフィルムの表面と前記色調の印刷表面の少なくともいずれか一方に、当該色調に対応する識別標識を表示しておくこと、現在試している色調を使用者が間違えることがなくなるので、サービス性がより向上する。表示方法としては印刷による方法を例示することができる。

#### 【0009】

前記色調見本の前記ベースフィルムの裏面に接着剤を付着し、この接着剤によって色調見本を剥離紙に離脱可能に添着して構成した色調見本具は、非常に使い勝手がよい。

#### 【0010】

透かし孔を有するカードを用意し、このカードの透かし孔に、前記色調見本を

取り付けて構成した色調見本具も使い勝手がよい。

【0011】

【作用】

ベースフィルムに印刷された化粧品の色調は塗布色調であるので、顧客は自己の好みに合った色調の化粧品を間違えなく選択することができる。

【0012】

【実施例】

以下、本考案の実施例を図1から図3の図面に基いて説明する。

図2はファンデーション用のサンプルシート（色調見本具）1である。サンプルシート1は、その上段部に使用方法が説明されており、下段に6種類の色調見本2を備えている。

【0013】

図1は図2のA-A断面図である。この図に示すように、サンプルシート1は裏面にシリコン樹脂を塗布した剥離紙3を有し、この剥離紙3に色調見本2が接着剤4を介して離脱可能に添着された構成になっている。色調見本2について詳述すると、色調見本2は、ベースフィルム5と、色調の印刷6と、カバーフィルム7とから構成されている。ベースフィルム5は透明なポリエステルフィルムからなり、ベースフィルム5の裏面に前記接着剤4が付着している。印刷6は、ベースフィルム5の表面に円形に印刷されており、その色調は、実際に肌に塗る時と同じ厚みにおける当該化粧品の色調、即ち塗布色調になっている。カバーフィルム7は透明なポリエステルフィルムからなり、前記ベースフィルム5及び印刷6の表面に付着されている。カバーフィルム7の表面は人の肌に近い凹凸を有するマット調に加工されている。又、このカバーフィルム7の表面には当該色調の色番号（識別標識）が印刷されている。このように構成された色調見本2は円形等の適宜の形状に打ち抜かれていて、剥離紙3から容易に剥せるようにされている。

【0014】

この色調見本2は次のように使用する。初めに、使用者はサンプルシート1に添着された6種類の色調見本2から、自分に合いそうな色調の色調見本2を見つ

け、その色調見本2を剥離紙3から剥し、自分の肌、例えば額に貼る。カバーフィルム7の表面は肌の凹凸に近いマット調に加工されているので、色調見本2からは化粧品を実際に肌に塗ったかのような質感が得られる。そして、色調見本2の色調が自分に合う色か、自分に馴染む色かを確認する。この時、もしも、その色調が自分に合わないと判断した時は、別の色調見本2を同様な手順で肌に貼り付ける。別の色調見本2を貼る際には、初めに貼った色調見本2を剥してもよいし、剥さなくても構わない。何となれば、初めに貼った色調見本2を剥さなくても、各色調見本2には一つ一つ色番号が表示されているので、自分に合った色調の色番号を間違えなく指示することができるからである。

#### 【0015】

このサンプルシート1を用いて化粧品の色調を選定すれば、自分に合った色調の化粧品の色調を選定することができるようになる。しかも、色調見本2の色調は塗布色調であるので、使用者は色調の選定ミスをすることが殆どなくなる。

#### 【0016】

尚、前記カバーフィルム7の表面をマット調に加工する代わりに、印刷6の表面をマット調に加工してもよい。又、色番号の印刷場所についてはカバーフィルム7の表面に限るものではなく、これに代えて印刷6の表面にしても構わない。又、色番号の代わりに色の名称を印刷するようにしてもよい。

#### 【0017】

図3は、別の色調見本具10を示している。この色調見本具10は各色調ごとに一枚のカード11にされていて、リング14によって括られている。各カード11は表裏一對のプレート12、12を有し、中央に透かし孔13が形成されている。そして、この透かし孔13に前記第1実施例と同様の色調見本2が配置されており、これを両プレート12、12で挟んで固定した構造になっている。この色調見本具10の場合には、プレート12の表面に色番号が表示されている。この色調見本具10の場合には、自分に合いそうな色調の色調見本2を有するカード11を選んで、これを肌に当てるだけでよいので、色調選定作業が非常に簡単にできるようになる。

#### 【0018】

**【考案の効果】**

以上説明したように、本考案の色調見本によれば、透明なベースフィルムの表面に塗布色調が印刷されているので、顧客は化粧品の色調の選定を間違いなく行うことができるという優れた効果が奏される。

前記印刷の表面を透明なカバーフィルムで被覆すると、印刷表面の汚れ防止及び損傷防止ができるという効果がある。

**【0019】**

前記カバーフィルムの表面と印刷の表面の少なくともいずれか一方をマット調にすると、肌との違和感がなくなるという効果がある。

前記カバーフィルムの表面と印刷の表面の少なくともいずれか一方に、当該色調に対応する識別標識を表示すると、サービス性が向上するという効果がある。

**【0020】**

色調見本を剥離紙に付着させたり、色調見本をカードの透かし孔に取り付けると、極めて使い勝手のよい色調見本具が得られる。